



第21回日本外来小児科学会年次集会

春季カンファレンス2011神戸

発達障害に関わる — 私たち外来小児科医にできること —

日 時：2011年4月3日(日)
9時30分～16時00分

場 所：神戸国際会議場3階 301
神戸市中央区港島中町 6-11-1
TEL 078-302-5200
(会場への交通案内は裏面をご参照下さい)

参加費：事前登録：4,000円(昼食込み)
当日参加：4,000円(昼食なし)

事前登録：春季カンファレンスホームページ
<http://plaza.umin.ac.jp/sagpj21/spring.html>
(登録期間2010年12月1日～2011年3月15日)
WEB 申込不可の方は、下記参加登録事務局へご連絡下さい



宿泊予約：同ホームページから予約できます

神戸港ディナークルーズ(コンチェルト)へのお誘い

カンファレンスの前夜、港町「神戸」や明石大橋を海上から眺めながら、洗練された中華料理を味わう楽しい時間を共に過ごしませんか

日 時：2011年4月2日(土) 19時20分～21時05分
集合場所・時間：神戸ハーバーランド MOSAIC(モザイク) 1F コンチェルトチケットカウンター 19時
(TEL 078-360-5601)

※帰路はハーバーランドから主なホテルへ専用バスでお送りします

参加費：おひとり10,500円(要予約) 定員80名(先着順)

予 約：春季カンファレンスホームページより予約ください。(2010年12月1日予約開始)

第21回日本外来小児科学会年次集会会長 熊谷 直樹

同事務局 藤田 位

春季カンファレンス担当実行委員 橋本 裕美、西村 龍夫、福田弥一郎

連絡先：橋本こどもクリニック

FAX：072-631-8989、E-mail：hiromi@reasoning.org

参加登録事務局 (株)日本旅行 神戸支店 担当：樋口・濱田・今井
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-3-2 JR神戸支社 5F

TEL：078-371-2810 FAX：078-371-2816

E-mail：kobe_office@nta.co.jp

春季カンファレンス ご案内

日常診療や健診の場で、発達障害を抱えるあるいは診断はついていないけれど疑わしい子どもに接する機会が増えてきました。特に私たち外来小児科医は、地域で家族の身近に寄り添う立場にあり、発達障害をある程度理解することが不可欠になりつつあります。

カンファレンスでは、発達障害児に積極的に関わっておられる小児科医のお話も伺いますが、プライマリ・ケアでできること、専門医への紹介が必要な児とそうでない児との見分け方、家族の支援に役立つちょっとした言葉掛けのコツ、地域資源の利用の仕方など、より実践的な内容に焦点を絞りました。発達障害への関わり方の第一歩を、神戸で一緒に学びましょう。

会員、会員ではない方、小児科医、小児科医ではない方を問わず、コ・メディカルの方を含め、どなたでもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

プログラム

第一部 小児科外来でどこまでできるか (9:30～12:15)

座長 (藍野大学) 若宮 英司

講演 1 なぜ外来小児科医が発達障害に関わらねばならないのか (大阪府柏原市・にしむら小児科) 西村 龍夫

小児科外来を受診する中に、発達障害を持つ子どもはたくさんいます。母親がアドバイスを求めて受診したり、小児心身症を発症して受診することも多いでしょう。そのような場合、多くのプライマリーの小児科医は、自らの経験に基づいて対応しているのが現状です。発達障害の知識があれば誰でもそういった訴えや症状に対応しやすく、外来診療の幅が大きく広がると思います。発達障害の世界に一歩足を踏み入れてみませんか。

講演 2 発達障害の気づきと対応：如何にして気づくか

(香川県東かがわ市・小児科内科三好医院/徳島大学小児医学) 宮崎 雅仁

発達障害は所謂 common disease であり、外来小児科医が「チョッと気になる子どもたち」を診察したり、その相談を受けたりする機会は稀ではありません。本障害児を診断する上で5歳は最重要な milestone であり、その気づきの場である5歳児健診より得られた情報は本障害児の日常診療にも役立つ知見を数多く含んでいます。例えば病態生理を念頭に置いた診察項目に加えて、行動様式に関しても本障害児特有の問診項目が存在します。本講演では、専門職を有しない診療所の外来小児科医が本障害児に気づき、如何にすれば限られた診療時間で保護者や患児本人が納得しうる診療・医学的アドバイスが可能かを考えていきます。

講演 3 発達障害の気づきと対応：対応から支援へ

(奈良市・つくだクリニック) 佃 宗紀

発達のことでお悩んでおられる保護者の方がお子さんのことを理解できるようになると、保護者の方もお子さんも“しんどさ”が減ることを多く経験します。

また幼稚園や学校の先生方の協力も大切です。お子さんが安心して失敗できるために、自信を失わないために、よいコンディションで生活できるように私たちにできる対応と支援を考えていきたいと思えます。

指定発言 (和歌山県御坊市・おおたにクリニック) 大谷 和正

総合討論

昼食 休憩 (12:15～13:15)

第二部 明日から役立つ実践講座 (13:15～16:00)

座長 (大阪市・福田診療所) **福田弥一郎**

講座1 小児科外来でできるアドバイス (大阪府堺市・耳原総合病院小児科/佛教大学社会福祉学部) **武内 一**

わたしは、多くみなさんと同じように専門的な研修を受けていませんが、長らく発達障害に関わってきました。実は、普段子どもと家族をみているからこそ、発熱で受診した時に「集団生活で決まりが守れない」「多動で落ち着かない」といった愚痴が聞けるわけで、そこから、子どもの特性を踏まえた生活の工夫が見つかるように思います。診断には踏み込めなくても、気になる児へのつき合い方のヒントがお伝えできればと思います。

講座2 私たちはこんな風になっています ー言語聴覚士の現場からー

(大阪府柏原市・にしむら小児科発達支援ルーム 言語聴覚士) **岩根 章夫**

療育センターでの仕事から、地域の小児科での臨床を始めて2年目です。この間もっとも印象深いことは、「障がい」名がつく前のお子さんの多様性と彼らが大きく変化していくということです。

「診断」をとりあえず保留にするお子さんにも、彼らなりの「困り感」があります。発達に凸凹があり、育てにくいお子さんの特性をご家族に分かりやすいことばで伝え、無理なくできる工夫を考えながら支援を進める。そんな臨床を模索中です。

講座3 こんな手もある ー地域リソースの活用ー

(岐阜県恵那市・蜂谷医院小児科) **蜂谷 明子**

私が町でひとりだけの小児科医をしてきて、行きついたところは「子育て支援」でした。そのためには発達障がい児へのより良い対応は避けては通れません。しかし発達障害専門医を受診するには待ち時間がとても長く、園や学校はその日、その日の対応に疲弊・困惑しています。かと言って当院で臨床心理士などのスタッフを招く知識も経済もない。それならばと地域のあらゆるリソースを繋げ、行政を動かし、ネットワークとして有効活用し、子ども達を支援するという方法に行きついているのが現状です。田舎でのひとつの方法として御報告させていただきます。

講座4 外来小児科医もここまで出来る…かな? ー専門医の立場からー

(藍野大学) **若宮 英司**

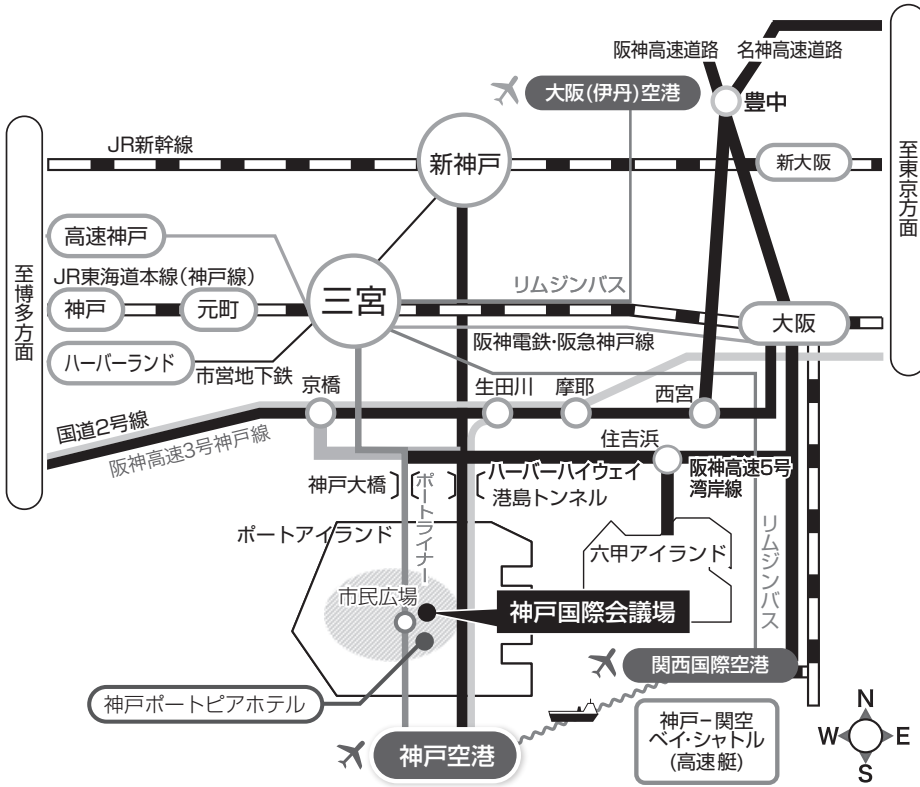
ここでは、小児科医が発達障害に取り組むことに後ろ向きになりがちな理由を、気付き・診断と対処・治療に分けて、それぞれを整理したいと思います。おそらく、発達障害診療に求められる我々自身の知識、資質のほかに、医療内部の連携、医療以外の体制の問題、診療報酬や一般の受け入れの問題などが浮かび上がるでしょう。それらに対して現時点で可能な対応は何かあるのか? 本日の講演の中からヒントが掴めるよう努めます。

事務局注:「障害」用語について

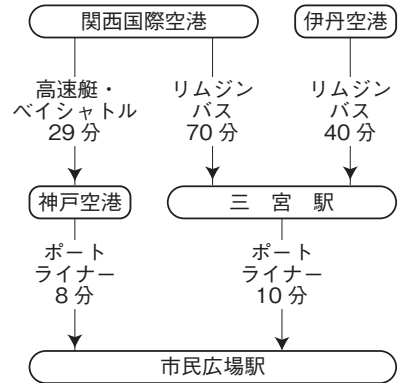
2011年の春季カンファレンス、年次集会では「障害」を基本としますが、講演や抄録では「障害」「障がい」「障り」など、演者の思いに委ねることにいたしました。

会場への交通案内

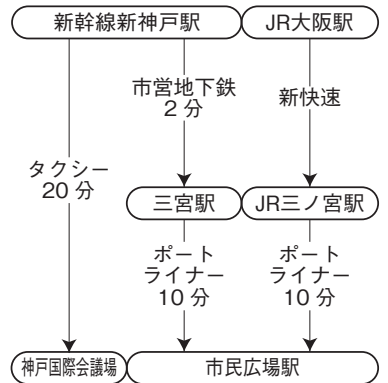
※市民広場駅より連絡通路あり



●飛行機



●新幹線・在来線



神戸港ディナークルーズ（コンチェルト）集合場所



神戸ハーバーランドモザイクまで

[ポートピアホテルから]

- ・ポートピアホテルから無料シャトルバスで「三宮」駅へ。(約15分)
- または、「市民広場」駅からポートライナーで「三宮」駅へ。(約10分)
- 「三ノ宮」駅からJRで「神戸」駅へ。(約6分)
- 「神戸」駅下車、徒歩南へ約15分。

・神戸市営地下鉄「ハーバーランド」駅より徒歩約15分。

・阪急・阪神・山陽鉄道「高速神戸」駅より徒歩約20分。

[タクシーで]

- ・新幹線「新神戸」駅より、タクシーで20分。
- ・JR「三ノ宮」駅より、タクシーで15分。

※専用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

※集合場所・時間は、神戸ハーバーランド MOSAIC (モザイク) 1F チケットカウンター 19時です。時間に余裕をもってお越しください。

※帰路はハーバーランドから主なホテルへ専用バスでお送りします。